

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月15日

計画の名称	霧島市における通学路の交通安全確保による安心・安全で暮らしやすい地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	霧島市												
計画の目標	「霧島市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全対策が必要な箇所の対策を実施し、歩行空間の確保等による安心で快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,105	A	1,105	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年4月1日		平成34年3月31日
1	・「霧島市通学路交通安全プログラム」に基づき通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。 「霧島市通学路交通安全プログラム」における通学路の安全対策を実施した割合（％） 対策を実施した箇所数（箇所） / 安全対策が必要な箇所数（箇所） × 100	25%	30%	35%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	霧島市	直接	霧島市	市町村道	改築	馬立～北原線・溝辺町石峯工区	歩道整備 L=1.14km	霧島市						349	-		
	A01-002	道路	一般	霧島市	直接	霧島市	市町村道	改築	住吉東線・隼人町住吉工区	歩道整備 L=0.12km	霧島市							130	-	
	A01-003	道路	一般	霧島市	直接	霧島市	市町村道	改築	川跡～有下線・国分福島工区	歩道整備 L=0.412km	霧島市							389	-	
	A01-004	道路	一般	霧島市	直接	霧島市	市町村道	改築	論地通り1号線・溝辺町麓工区	歩道整備 L=0.48km	霧島市							165	-	
	A01-005	道路	一般	霧島市	直接	霧島市	市町村道	交安	唐仁町～有下線・国分中央六丁目工区	歩道整備 L=0.1km	霧島市							17	-	
	A01-006	道路	一般	霧島市	直接	霧島市	市町村道	交安	生活道路対策エリア(日当山工区)	歩行空間整備 一式	霧島市							55	-	
												小計						1,105		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況											
												H30	H31	R02	R03	R04														
																	1,105													
一体的に実施することにより期待される効果																														
備考																														

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 霧島市建設部土木課	事後評価の実施時期 令和5年9月
	公表の方法 霧島市のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「霧島市通学路交通安全プログラム」に基づき通学路の安全対策を実施することで、歩行空間の確保等による快適なまちづくりを推進することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	35%
	最終実績値	66%
		市の単独費も活用し安全対策を実施したため。